



装い新たに「Sapiens」No.7発行

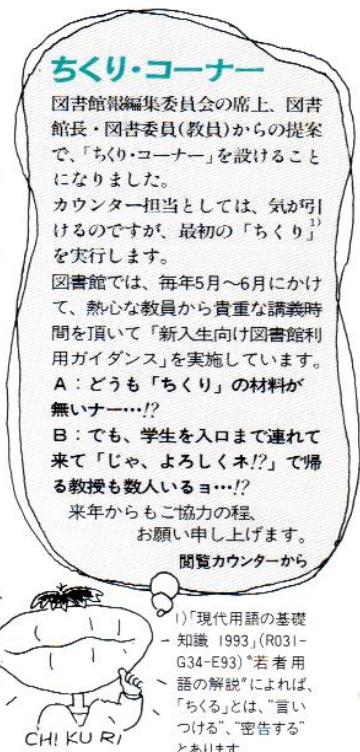
札幌大学図書館蔵書検索システム「Sapiens」CD-ROM版の発刊から約3年間、これまで学内でのみ利用してきましたが、今回、蔵書の有効利用と図書館間相互協力のため、装いも新たに学内外に配布できる「Sapiens」No.7を発行しました。CD-ROMには検索プログラムと当館が所蔵する開学から1993年3月までの和洋の図書・雑誌、約25万件のデータが収録されています。検索方式は2通りあります。メニュー方式の対応機種は、NEC PC9800、IBM PS/55、日立3020、日立2020。コマンド方式は MS CD-ROM Extensions を組み込んだ MS-DOSパソコンです。
(整理係 S.)



閲覧カウンターから

図書館所蔵図書情報がMARC(Machine Readable Cataloguing)化され、現在、貸出図書情報の約90%がローバルデータ管理されています。これらのデータを基に図書館利用の実態を公開します。第一回目は、貸出がローバルデータ管理されて以来、約5年間(1988.2.12～1993.6.3)の貸出図書上位10書です。

	◎書名	◆著者名	▲巻次	◆請求記号	◆貸出回数
1	◎ノルウェイの森	◆村上春樹著	♠上	♣(913.6-Mu43)	◆[115]
2	◎ノルウェイの森	◆村上春樹著	♠下	♣(913.6-Mu43)	◆[98]
3	◎ダンス・ダンス・ダンス	◆村上春樹著	♠上	♣(913.6-Mu43)	◆[94]
4	◎英検2級に合格する公式	458		♣(問題集コーナー)	◆[83]
5	◎ミクロ経済学入門	◆西村和男著		♣(331.19-N84)	◆[78]
6	◎マドンナのごとく	◆藤堂志津子著		♣(913.6-To18)	◆[78]
7	◎北海道の歴史	◆榎本守忠著		♣(211-E63)	◆[77]
8	◎民法がわかった	◆田中嗣久著		♣(324-Ta84)	◆[75]
9	◎ダンス・ダンス・ダンス	◆村上春樹著	♠下	♣(913.6-Mu43)	◆[74]
10	◎成人病の予防と治療：中年からの健康管理	◆松岡健平・北原光夫共著		♣(493.18-Ma86)	◆[74]



ちくり・コーナー

図書館編集委員会の席上、図書館長・図書委員(教員)からの提案で、「ちくり・コーナー」を設けることになりました。

カウンター担当としては、気が引けるのですが、最初の「ちくり」を実行します。

図書館では、毎年5月～6月にかけて、熱心な教員から貴重な講義時間を頂いて「新入生向け図書館利用ガイド」を実施しています。

A：どうも「ちくり」の材料がない…?

B：でも、学生を入口まで連れて来て「じゃ、よろしくね!」で帰る教授も数人いるよ…?

来年からもご協力の程、お願い申し上げます。

閲覧カウンターから

- 1)「現代用語の基礎知識」1993.(R031-G34-E93)*若者用語の解説によれば、「ちくる」とは、「言いつける」、「密告する」とあります。



札幌大学図書館報
ホルム N.O.-I (創刊号)
1993年(平成5)年7月31日発行
編集・発行／札幌大学図書館
電話(011)800-1101(代表)

利用者の「ちくり・コーナー」を深め、図書館の魅力を知つてもらひ、特に学生には、図書館や図書をもっと活用してほしい。その掛け橋になればとの願いを込め、今何故、その一つの掛け橋になればとの願いを込め、今何故、図書館報の創刊が「ちくり」の学内外の意見や注目へのフレッシュヤーに耐え、さうには一味違つたものをと意気込んでの編集会議。まず、標題で一騒動。提案された中の一部を披露すると、七箇条(ななかまつ)、菩提樹、北斗星、LINKAGE、海拔千米、メム(鬼)、その他数十種類。中でも「海拔千米」には最後まで執着した委員がいたが、館員の評判しきぶる悪し。表紙でまた一苦労、委員長は、図書を学生に春香山の頂上まで運ばせて、やれやせの写真まで撮った。(ロゴージン参照)しかし、遭難者の追悼式に見えたといふ意見で冷たく却下。庄をイメージした題字のトサインも、数十種類の提案の中から論議の結果、選ばれたものである。

Y君の手記のイチバムを担当した坂井捷子さん(93短大文化卒)。Y君の「ロマン画家志望だったといふの教授の発想に、マンガ化を提案しながら、ひいて行なった女史。その後での坂井さんの気苦労の程は察しがつく。Y君がお手伝ひだ。

何せともあれ、教員、職員、学生の三者協同のもとで無事、創刊号の編集を終えられたことができた。執筆にご協力いただいた方に、厚くお礼を申し上げる。

なお、この報編集の基本方針の特徴は、標題を除き毎回違うレイアウトでも構わない、とにかく面白い、自由な発想で、号を重ねる毎に良いものにしていくことにある。斬新なアイデアや、意見を寄せてください。